



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：平澤 理 副会長：藤澤健二 幹事：杉本徳治 公共イメージ向上委員長：市川満貞



イマジン
ロータリー

2022-2023 国際ロータリーのテーマ

IMAGINE
ROTARY

2022-2023 RI会長
ジェニファー E.
ジョーンズ
＜カナダ (オンタリオ州) ＞



第1648回 完全リモート例会 令和5年1月24日(火)



■ 点 鐘 12 : 30

■ 会長談話 平澤理会長



早春の味として知られる「落のとう」が、そっと顔を出し始める時期です。雪が残る冷たい地面を割るようにして、まず落のつぼみが顔をのぞかせ、花を咲かせてから葉を伸ばします。その葉が出る前の若い花茎を「落のとう」と呼びます。やがて成長し、茎の部分が落です。

「落のとう」は、日本特有の山菜として、春を告げる爽やかな苦みや高い香りが好まれ、日本料理には欠かせない食材の一つです。

さて、子供を取り巻く環境が変化しています。インターネット・携帯電話の普及により、人・物・情報が国境を越えて接する機会が増え、情報モラルが必要となり、また環境問題が深刻化して自然との共生が求められ、更には少子高齢化社会になり、集団生活の体験が不十分な子供の増加と親の経験不足が懸念されています。価値観の多様化・個性化が進み、従来の社会常識が通用せず、個人主義のはき違えや規律意識の低下が心配されています。

社会が高度成長の時代、一生懸命に働き生活は向上しました。

一つの価値観・一定の価値観に向け、進まざるを得ませんでした。目指すはテストでの高得点の成績、高校・大学への進学と一流企業への就職だったと思います。

今、社会は色々な価値観で構成され、多様化し、目指す事も違ってきています。

従って、多様な価値観と個性化の中で、互いの良さを認める事は必要不可欠かと思えます。そして、異なる上下年代の交流を通して、他人を知り、思いやる心を育てる事が、これからの社会に必要なではないでしょうか。

■ 幹事報告 杉本徳治幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ ニコニコボックス

- ◆平澤理 全員協議会・次年度地区補助金事業について、宮澤友浩次期 R 財団委員長よりしくお願い致します。
- ◆杉本徳治 今日から 26 日にかけて強い寒気が流れて冷え込み、大雪となることが予想されています。皆さん、体調に注意し通り過ぎるのを待ちましょう！！
今年は諏訪湖の御神渡りが見えるかもしれません。期待しましょう！！
- ◆田中真人 先日、健康診断に行つて胃カメラで健診しました。ここ数年、年に 1 回は胃カメラを飲んでいるせいか先生から、飲むのが上手いと言われて変な感じがしました。正直嫌ですが自分のため、家族のためと割り切つて続けたいと思います。
- ◆宮原英幸 肥沼光彦会員、先週はクラブフォーラム「職業・社会奉仕委員会」での卓話をありがとうございました。

■ 出席報告 会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席率100%
前回出席率 修正なし

■ 全員協議会

・次年度地区補助金事業について 宮澤友浩次期ロータリー財団委員長



次年度ロータリー財団委員長を務めさせて頂く宮澤です。
昨年、現委員長の松田さんが財団寄付のお願いをされておりましたが、その寄付金はロータリー財団で3年運用の後、一部我々の活動費、地区補助金として帰ってくる仕組みとなっております。

我々伊那中央ロータリークラブは昨年、今期「未来へつなぐ森林づくり」という植林活動をさせて頂いております。次年度の地区補助金の申請は、3月中旬には内容・企画書を提出しなければなりませんので、本日は皆さんメンバーの方の、活動の要望などを伺う機会とさせて頂きます。

地区補助金活動にはいくつかの約束事、制約もありそれに沿った活動計画が必要です。同じ事業については3年までという制約もあり、昨年の森の事業は1年目であったため次年度も、ご意見が無ければ「未来へつなぐ森林づくり」の活動を行いたいのが、会長エレクトの市川さんのご意見です。但し、会員の皆さんのご意見もしっかり聞いたうえで、十分な協議を行い活動の方針を決めていきたいと思ひます。

3月申請提出ですので、要望の他事業、また森林事業に対してのご意見などございましたら、1月中に私、または会長エレクトの市川さんの方にご提出をお願いいたします。

■ 点 鐘 13:00

次回例会

2月7日(火) 点鐘/12:30 完全リモート例会
・クラブフォーラム「デジタル化推進委員会」